

Let's join the events

2022年は...
10月15日(土)
16日(日)
やまねこ博覧会

そのほかにも楽しいイベントを開催しています。詳しくはホームページをご覧ください。

京都動物園 | 検索

皆様の御来園をお待ちしています。

今年はお面ガイドが復活!!

スタッフが作製した景品を買えるイベントもあります。

絶滅の危機に瀕しているツシマヤマネコの現状や、その保全に関する取組について、知って頂くことができるイベントです。

「やまねこ博覧会」は2012年から毎年実施しており、今年で11回目の開催になります。

現地対馬の保全団体がブース出展や講演をします。

「知らなかった!」がいっぱい

ブースでホットな対馬の情報を!

京都府 中川 大輔

動物園にいるいきもの図鑑

フクロクサギ科
キンモクセイ (モクセイ科) 9月~10月ごろ

京都の森
キンクロハジロ (カモ目カモ科)

京都の森
ジョウビタキ (スズメ目ツグミ科)

ツブキ (キク科) 10月~12月ごろ

オセアニアを除く全世界の熱帯、温帯に分布し、東日本では夏鳥、西日本では留鳥です。額から胸にかけて羽毛のない額板があり、繁殖期には赤くなります。

日本には冬に越冬のため飛来し、湘沼、河川、河口などで暮らします。繁殖期のオスは頭・顔が赤褐色、メスは全体が褐色をしています。

ホシハジロ (カモ目カモ科)

ツブキ (キク科) 10月~12月ごろ
秋になるとキクに似た黄色い花を咲かせます。岩の上など厳しい環境でも育つことから、「石菖」と書いてツブキと読ませます。

動物園よりお知らせ

うまれたよ(誕生)

2022/3/11 インドホシガメ

2022/6/1 ワオキツネザル ヨモギ♀

2022/6/5 インドオオコウモリ

2022/6/18 キリン「ユラ」♀

2022/6/24 ヨシガモ 3羽

2022/6/2~22 イチモンジタナゴ92匹

2022/6/7 ニホンキジ「棟梁」♂

2022/7/25 アオバト「チャセン」♀

新しい仲間が増えました

2022/8/19 キリン♂

2022/5/4 マダラヤドクガエル

2022/5/11 フタビシタナゴ(マダモ)♀

2022/5/23 ヒツジ「ニッキ」♀

2022/7/26 ケアライオウ(ヒツジ)♂

2022/8/1 ムササビ(ムササビ)♂

2022/5/26 ヤギ(ヤギ)「ハルミ」

2022/5/30 ケアライオウ(ヒツジ)♀

わすれないよ、ありがとう(死亡)

4/22~8/23 イチモンジタナゴ3匹

4/1 テンジクネズミ「チマキ」♀

4/5 テンジクネズミ「タクアン」♀

4/11 テンジクネズミ「ゲンマイ」♀

4/12 オンドリ♀

4/22 テンジクネズミ「ウミ」♂

4/26 ニホンキジ♀

4/29 テンジクネズミ「チアチア」♀

4/30 オンドリ♀

5/1 ニューギニアナガクビガメ♀

5/16 テンジクネズミ「イナリ」♀

5/17 テンジクネズミ「ダイヤキ」♀

5/19 マダラヤドクガエル

6/2 テンジクネズミ「ベッパ」♂

6/4 マダラヤドクガエル

6/6 テンジクネズミ「ヤキオネギ」♀

7/3 マダラヤドクガエル

7/14 マダラヤドクガエル

7/15 カウセミ(健康センターから購入後間もなく死亡)

8/19 ウズラ♀

御支援ありがとうございます

株式会社ノリス様からチャージファンサービス、無償ガイドシステムサービス、国際ソコブミスミ京都 たちばな橋からペンテア台、株式会社テクノリーフ様からフックターフーズをいただきました。

50th anniversary

京都府立京都大学サガ

この印刷物が不要になれば「緑がみ」としてリサイクルさせていただきます。

京都市動物園

動物園だより

開園時間 3~11月 9:00~17:00
12~2月 9:00~16:30
*入園は開園時間の30分前まで

休園日 毎週月曜日 祝日の場合は翌平日
12月28日~1月1日

入園料金 一般750円、団体(30名以上)650円
中学生以下無料
年間入園券(一般)2,200円

交通 京都市営バス(5,32,100系統)
「岡崎公園動物園前」下車約2分
京都市営地下鉄東西線「蹴上」徒歩約7分
「東山」徒歩約10分

kyoto city zoo

京都市動物園(公式) 京都市動物園 kyotoshidoubutsuen

Features 特集

京都の森特集

~地域の自然を知り、生物多様性を感じる~

トラ「アオイ」

寅年にちなんで行われた選挙で見事第7代アニマル園長に選ばれたトラのアオイ。18歳のおばあちゃんですが、その美しい毛並みや表情はまだまだ「美トラ」と評判です。2010年に出生した三つ子のうちの1頭、オクとともに、動物園の人気者のアオイにぜひ会いに来てくださいね!

Let's join the events

おすすめイベント

秋の夜間開園 妖怪ナイト at the zoo 2022
10月8日(土)
9日(日)

妖怪と動物の関係は知れば知るほど面白い!夜の動物園と妖怪のコラボをお楽しみください。

第51回 ウィンタースクール
真冬の動物園で飼育体験してみませんか。学年にあったプログラムを実施します。動物舎の掃除や餌の準備ができますよ。

- 3・4年生 12月10日(土)11日(日)
- 募集期間:11月1日(火)~11月15日(火)
- 5・6年生 1月14日(土)
- 募集期間:11月30日(水)~12月14日(水)
- 中学生 1月15日(日)
- 募集期間:11月30日(水)~12月14日(水)

第11回 やまねこ博覧会
10月15日(土)
16日(日)

絶滅の危機に瀕しているツシマヤマネコの現状や、その保全に関する取組を深く知っていただける、ネコづくしの2日間です。

第8代 アニマル園長選挙
2023年の干支「卯」にちなんだ候補者の中から、みなさまの投票により2023年度の京都市動物園の顔となる「アニマル園長」を決定します。満票1票を!

- 投票期間:2月7日(火)~3月5日(日)
- 誰?!

トラ

分類 食肉目 ネコ科
分布 ユーラシア大陸

ネコ科最大の動物。その中でもシベリアなどの寒冷地に住むアムールトラは最も体が大きく、オスは体長約3m、体重200kg前後になる。体毛が長く、黒い縞模様は細く美しいのが特徴。オス・メスともに繁殖期以外は単独で生活する。主に明け方と夕方に活動する薄明薄暮型で、シカやイノシシなど様々な動物をどらえて食べる。野生のアムールトラの生息数は500頭ほどで、絶滅の危険性が高い動物の一つとされている。

IUCNレッドリスト

危険が低い LC NT VU EN CR 絶滅すべし

動物園が変わります!

いのちがやく京都市動物園開園20周年
「安心安全な動物園を目指して」

Topics of Kyoto City Zoo

わたしたちのすぐ近くにある自然
京都市動物園で働く一その4:動物園の園長さん

SDGsの取組 15. 「陸の豊かさを守ろう」ほか

https://www5.city.kyoto.jp/zoo/ TEL.075-771-0210

Features 特集 京都の森特集

～地域の自然を知り、生物多様性を感じる～

リニューアルされた京都市動物園で、重要なエリアのひとつが「京都の森」。ここは動物の飼育施設としてだけでなく、環境教育の実践地として整備されました。京都の森の中央部には、琵琶湖疏水から引かれた水路が通り、その水を利用した棚田が3枚作られ、ここで市民から参加者を募って、田植えや稲刈りなどの体験プログラムを行っています。最近では、循環型農業を実践すべく、動物園のアジアゾウの糞からできた堆肥を使って草食

動物用の牧草を植え付けて、飼育動物たちの飼料としています。水路の水が流れ込む、1903年の開園当時から残る「噴水池」では、京都府では「絶滅寸前種」となっているイチモンジタナゴの繁殖を目指して、環境整備に取り組んでいます。「京都の森」には順路があり、入り口付近が人間の暮らしに近い「里山」ゾーン。そこから進むにつれて奥山に入って行き、それぞれの地域で見られる動物たちを配置しています。京都市動物園に

は、隣接して「野生鳥獣救護センター」があります。救護された動物を野生に戻すための施設ですが、一部の野生復帰が困難な個体については、「京都の森」の動物舎で終生飼育をしています。動物園は、野生から切り離された場所というイメージがあるかもしれませんが、この「京都の森」はさまざまな経路で園外の自然とつながっています。京都市動物園は京都盆地を囲む東山連峰からほど近い場所にあり、動物園で京都の豊かな自然を感じてください。



穿通系のある熊舎からバゲット
日本列島におたふく動物たちもゆらゆらと暮らしています。
クマなども帰ってきてくれています。

ホタルの飛ぶ「京都の森」を目指して

「京都の森」エリアの水路では、ゲンジボタルが棲める環境づくりをしています。「京都はたるネットワーク」の皆さんの協力を得て、ホタルの幼虫の餌になるカワニナという巻貝の放流を始めたのが2014年12月。それ以来、このエリアでは薬剤散布を控えるなど、ホタルだけでなく多様な生き物が棲みやすい環境づくりを行ってきました。その成果が見られたのは2019年から。毎年5月終わり頃になるとホタルの飛び姿が見られるようになりました。

里山とは

里山とは、人の暮らす場所近くにあつて、農地やため池、草地や森林など多様な自然環境を含む地域です。一方で、人が立ち入らない、人里から離れた地域を奥山と呼びます。里山は奥山にすむクマやサル、シカなどの野生動物と人との緩衝地帯でもあったのですが、都市化が進んで人が森を利用しなくなったために、里山が縮小して野生動物が町まで出てきたり、人が山に入ったときに野生動物に出会ったりする事例が増えています。

京都の森で暮らす動物たち

インヒヨドリ

野生由来で、あまり人馴れしていない。普段は野鳥舎後方を右に左に飛び回る元気者だが、餌のミルワームを見つけると地面に降りて淡々と食べている。

オシドリ

繁殖期の秋から春に鮮やかな羽の色をしているオスだが、初夏には羽が抜け替わりメスと同じ地味な色味に。夫婦に限らずオシドリ同士は仲が良いことが多い。ドンダリやエビが好物。

ホンドフクロウ (ワクン)の

置物みたいにじっと枝に止まっているかと思うと、急に羽を始めた。たらいに飛び込んで激しく水浴びをしたり、様々な姿を見せてくれる。

ニホンツキノワグマ (ホノカ) ♀

体は小柄だが、食事の時にはパワフルに走り回る。複雑に渡した丸太の上を器用に移動することも。

オオサンショウウオ

両生類最大の種で、特別天然記念物。1981年広島市安佐動物公園生まれ。体長125cm、体重18kgのちよっとぽっちゃりさん。現在国内で2番目に長生きしている個体。

2022年9月1日現在

救護のシステム



野生鳥獣救護センターでは、傷ついた野生鳥獣の救護活動を行っています。対象は京都市内で救護された個体で、カラスなどの有害鳥獣や若齢個体は除きます*。持ち込まれた個体は、治療し、野生復帰を目指します。野生復帰できないと判断した場合は、動物園で飼養したり、救護ボランティアの方に引き渡したりします。
* 本園では、京都府が定める「京都府野生鳥獣救護ガイドライン(平成25年4月10日発行)」に基づいて救護業務を行っています。 <https://www.pref.kyoto.jp/choujyu/documents/kyuguguideline.pdf>



守れ! イチモンジタナゴ!! プロジェクト

京都市動物園で利用している琵琶湖疏水の水は、お隣の平安神宮にも流れ込んでいます。その平安神宮内の池では絶滅危惧種のイチモンジタナゴが自然繁殖をしていました。そこで同じ水を利用している当園では、イチモンジタナゴの飼育下繁殖と野生への再導入に取り組むとともに、地域の皆さまにもイチモンジタナゴについて知っていただくため、2016年から「守れ! イチモンジタナゴ!! プロジェクト」をスタートさせました。参加者のみなさんと一緒に、毎月1回の活動の中でイチモンジタナゴやイチモンジタナゴにまつわる生き物について学んだり、水質検査をしたり、動物園内の噴水池の整備や白川の生物調査などを行っています。

バケツと網を手に、動物園の近くの白川で生物調査を行いました。昆虫や魚など様々な生き物を観察できました。

専門家による興味深い話に、参加者はもちろん、動物園の職員も思わず引き込まれます。

水桶を立ち上げ、タナゴの繁殖に取り組んでいます。タナゴや目の観察、水質検査は回を追うごとにスムーズに!

稚魚が誕生しました!

今年の5月ごろから貝の中に卵が確認され、7月末までに100尾を超える稚魚が孵化しました。これまでにないたくさんの稚魚の誕生は7年間の積み重ねが実を結んだ結果だと言えます。稚魚は警戒心が強く環境の変化にも弱いため展示はしていませんが、この稚魚たちが次の世代を残してくれることを期待してこれからも飼育を続けます。

● いのちかがやく京都市動物園構想 2020 ●

京都市動物園の安全対策

「安心安全な動物園を目指して」

「人間は誰しもミスをする」

とても悲しいことですが、全国で見ると、動物たちによって職員がケガをしたり、場合によっては命を奪われたりする事故が毎年のように発生しています。当園でも2008年6月7日に、飼育していたトラによって職員の尊い命が奪われた事故が起こりました。原因は誰もが起こすヒューマンエラーだと考えられました。このような事故を二度と起こさないように、動物園内に「動物園安全対策委員会」を設置し安全対策の検討を重ね、ソフト・ハード両面において抜本的に対策の見直しを図りました。

2009年からのリニューアル工事も安全面を最優先した設計を行い、猛獣と呼ばれるトラやゾウ、カバ、キリン、クマ、ゴリラなどを扱う動物舎での作業手順の統一化や、猛獣舎での扉の閉鎖時や動物の部屋間移動時の複数名によるダブルチェック体制、毎月の安全衛生委員会の開催や、猛獣が脱柵した事を想定した猛獣脱柵対応訓練などあらゆる角度から安全性を高める取り組みを行っています。

動物監視カメラ

「入室前の確認」

リニューアル工事で動物の状態を録画・監視できるシステムを導入しましたが、トラ舎やジャガー舎、ゴリラ舎には前室部で動物の状況を確認できるモニターを配備し入室前に安全確認を行います。



無線機の緊急通報

「いつでも押せる」

全職員に携帯無線機が割り当てられ、園内の離れた場所からの連絡に利用していますが、緊急事態が発生した際、無線機の緊急発報ボタンを押すと全職員に緊急事態発生のお知らせが届くようになっています。また、その緊急発報が誰から発信されたか判るように、無線機の個別番号が表示されるようカスタマイズされています。



動物脱柵対応訓練

「予測をして備える」

毎年猛獣が動物舎から逃げ出したことを想定し、捕獲取替するまでをシミュレートする訓練を行っています。園外に出ることは何としても防ぐ必要があるため、動物舎周辺をフェンスやネットを用い囲い込み、麻酔銃を使って不動物化、捕獲、収容するまでを訓練します。



一度と悲しい想いをしたくない。職員全員で考えました
人間は誰しもミスをする

設備の工夫



転倒検知システム

「助けが呼べない時にも」

各動物舎に傾きを感じる端末装置を配備し、それを壁に装着し作業を行います。万が一その係員が倒れ一定時間倒れた状態が続くと電波を発信し、動物舎前でサイレンとパトランプで事故の発生を知らせます。同時に管理棟にも届き、異常事態を知らせます。



トラ舎、ジャガー舎の電気錠

「うっかりができないように」

2008年の事故は、トラ舎の2部屋仕切り扉が開いているのを忘れ入室し、死角から襲われました。そこで動物がいる部屋間の扉が1枚でも開いている場合、居室に入るための扉が電磁石でロックがかかるシステムを採用し、うっかりミスを防いでいます。



動物がいる場所にはそれがわかるものを貼っています。



猛獣舎でのダブルチェック体制

「人間は誰しもミスをする」

「人間は誰しもミスをする」ことを前提に、猛獣の部屋間移動時や動物が居るエリアへの入室時には必ず複数名で安全確認を行います。



職員が常に携行している名刺の裏に、安全管理にまつわる資料を入れています。避難誘導路や動物脱出時に使用する器具の取付場所などの他に無線機番号一覧表があります。職員はそれぞれ番号が刺り取られた無線機を携行していますが、職員が緊急事態に陥った際に無線機の緊急ボタンを押すと、各無線機のアラームが鳴る仕組みになっています。その際、無線機に表示された番号とこの表を照らし合わせることで誰が緊急事態に陥っているかがすぐわかるようにしています。



扉の扉には作業手順書が掲示してあります。

動物園は来園者の皆様だけでなく職員にとっても安全で安心な場所ではありません。私たちは事故の記憶を風化させることなく、教訓として安全対策に取り組み続けます。



京都市動物園 第32代副園長 坂本 友司

「忘れない」を続ける工夫

「記憶に留める、記録を活かす」

大切なのは、ミスを繰り返さないこと

毎月の安全衛生委員会開催

「全体への共有」

月ごとに起こった安全衛生に関する出来事を話し合い、そこで行われた議論の内容を職員に共有しています。



ヒヤリハット事例の収集と周知

「上司との共有」

日常業務で起こった「ヒヤリ」や「ハット」した事例を上司に報告し、発生原因を追及し再発を防ぐとともに、全職員に周知し同様の事例発生を未然に防ぐ取り組みです。

安全研修

「過去から未来へ繋ぐ」

新入職員には入庁時に、全職員には3、4年に一度、この事故に関する安全研修を実施し、事故の記憶が風化しないよう努めています。新入職員にとって、今の安全対策がなぜ行われているか理解する上で非常に役立っています。



京都市動物園では新たな構想を策定しました。

目指したのは動物舎に暮らす動物たちが幸せに生きられること(動物福祉)。そしてその動物たちが繁栄して子孫を遺り、動物園の個体群として継承されること(種の保存)です。京都市動物園では調査や研究を止め、市民の皆様と一緒に成果を伝えていきます。そして、自然のいのちのつながりについて共に考えていきたいと思っております。



Topics of Kyoto City Zoo



ホンドギツネ。何かを食べていた。



木の实を持っているニホンリス。



ホンドフクロウ。おそらく水を飲みに来た。

森の動物たちを どうやって撮影しているの!?



カメラには赤外線センサーが搭載されており、動物の動きを感じると撮影が始まるしくみです。夜間は、野生動物をなるべく驚かせないように、赤い光を照射して撮影しています。

1~2か月に1回の頻度でカメラ内の単三電池とメモリーカードを交換しに行きます。

わたしたちのすぐ近くにある自然

生き物・学び・研究センター 田和 優子



水場に集まる 法然院の森の生きもの

動物園から北東に2kmほど行くと、森の入口に着きます。森の中には水が湧き出て地表をちよちよと流れている場所があり、「森の水場」と呼ばれています。私たちは水場周辺の木の幹に自動撮影カメラを設置し、水を飲みに来る動物をモニタリングしています。動物たちは水場で水を飲むだけでなく、たとえば野鳥は水浴びをし、ニホンイノシシの親子は水場のやわらかい地面を掘り返してえさを採るなど、水場の使い方は種によってさまざまです。これ



調査地点である「森の水場」の様子。



ホンシロウジカ、最も頻繁に撮影される種。



水場で土を掘り返すニホンイノシシ。

までに哺乳類13種、鳥類30種が撮影されました。その中には京都府改訂版レッドリスト2021で絶滅寸前種に分類されたクロジやミゾゴイも含まれ、法然院の森の豊かさがうかがえます。しかし、アライグマなど外来種も度々撮影されており、今後その動向にも注意が必要です。この調査で撮影された動画・写真を動物園内の展示や講演プログラムに活用し、身近な森の生きものについて広く伝えたいと考えています。



京都府レッドリストで絶滅寸前種のクロジ。

法然院森のセンター

2021年7月より、法然院森のセンターを拠点に活動している市民団体「フィールドソサエティ」と連携し、法然院寺林内で野生動物の調査をおこなっています。その目的は、東山の野生動物の生息状況や生態に関する情報を蓄積し、野生動物保全に役立てることです。加えて、地域の野生動物の生態について深く理解し飼育展示に活かすというねらいもあるので、動物園職員も野外調査に参加しています。



法然院森のセンター <http://fieldsociety.la.coocan.jp/>



04

市民に愛され、支えていただけるような動物園であり続けることを目指します。

園長 坂本 英房

京都市動物園で働く

園長の仕事は、種の保存や環境教育、調査・研究などの動物園の役割を果たせるように、職員が働きやすい環境を整え、円滑に運営できるように努めることです。特に動物園で暮らす動物たちが、生まれてから死ぬまで幸せに過ごせるように努め、ツシマヤマネコなど絶滅のおそれのある野生動物の飼育下繁殖を推進することで保全に貢献し、持続可能な社会の実現に向けての取組を進めることを優先的な課題として取組んでいます。



動物の理解に繋がる情報を発信します。

市民の活動の場としての夜間式や、寄付などへの感謝状の贈呈式などを取り行い、気持ちを伝えることも園長の役割。



動物園で働く皆さんと一緒に様々な取組を進めます。

来て見て、会って！ 個体紹介 フタユビナマケモノ「パチパチ」(♂)

フタユビナマケモノは種名の通り前肢に二本の長いカギ爪を持ちます。後肢には3本のカギ爪があり、その四肢を器用に使って樹上を移動します。体毛は薄茶色で少し長い毛です。当園にいるパチパチは体重が5~6kgほどです。



あのね! どうして!?

動物園にある「創見箱」に寄せられた動物の不思議についてお答えします。

Q マンドリルはなんでお尻がにじいろなの?

A マンドリルのメスは顔やお尻がより鮮やかなオスよりも好む傾向があるとされており、また色の鮮やかさは実際にその個体の強さや健康状態を表す目安にもなることから、メスへのアピールのためと考えられています。なお、お尻や顔の青色は色素ではなく構造色と呼ばれるしくみで、皮膚の下にあるコラーゲン繊維の層が、光を散乱することで青く見えています。

マンドリル一家の大黒柱ベンケイも鮮やかなお尻が魅力です!



SDGs[®]に関する取組 「陸の豊かさを守ろう」 種の保存の取組



動物園の役割の一つに域外保全があります。これは絶滅の危機にある種を生息地以外で保全する、生物多様性の維持につながる取組です(SDGs15)。本園では優先的に取り組む種を示した「コレクションプラン」を作成し、以下の5種を最優先種に選定しました。これらの種は、積極的に繁殖に向けた取組を進め、飼育環境の改善や動物福祉の観点から定期的に評価・検証を行い、持続可能な飼育展示を目指します。



アジアゾウ



ニシゴリラ



グレイビーシマウマ



ツシマヤマネコ



イチモンジタナゴ



コレクションプランの詳細は、こちらから。

生き物でつながる京都の4つの博物館が連携! きょうと☆いのちかがやく博物館

京都市動物園、京都府立植物園、京都水族館、京都市青少年科学センター、生き物でつながる京都市内の4つの博物館が協力して、いのちの多様性や、さまざまな生き物が暮らせる自然環境の大切さを伝える取組を続けています。

参加しよう! 2022年4月9日に行われた連携ワークショップでは、「近くの自然再発見」をテーマとし、親子14組35名に御参加いただきました。園内の野生動物を探したり、植物やプランクトンの採集をしたり、身近な自然の発見を大人も子どもも楽しみました。



※SDGs(持続可能な開発目標)とは 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>